

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

# 教育いちかわ



市川市教育振興基本計画 ~次のような目標を掲げています~

### 子どもの姿

自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる

### 家庭・学校・地域の姿

自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する

### 市川の教育の姿

教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

## 基本計画の実現に向けて「実施計画」を策定しています

平成21年3月に策定された市川市教育振興基本計画の「基本計画」を、実際に進めていくために、具体的な取り組みを定める「実施計画」の策定を進めています。

### 「実施計画」の策定が、最終段階に！！

市川市教育振興基本計画「実施計画」は、基本理念である「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」の実現を目指して、「子どもの姿」「家庭・学校・地域の姿」「市川の教育の姿」の3つの基本的方向について、具体的な取り組みの内容と進め方を定めます。

策定にあたっては、学識経験者や教育関係者、保護者や地域の代表で構成する市川市教育振興会議の中で、現在実施しているさまざまな事業の見直しを含めて検討しました。

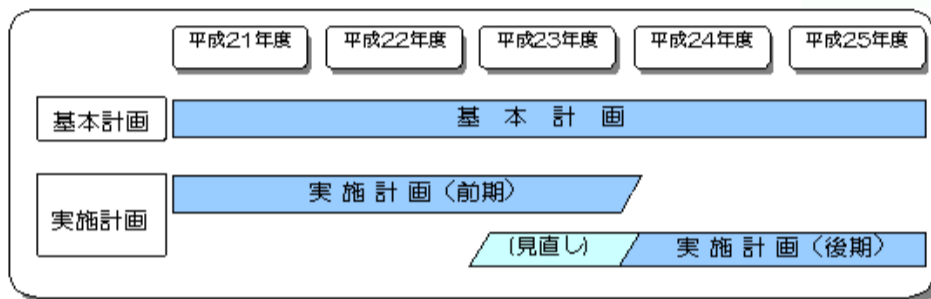
詳しくは、平成22年4月以降に実施計画の概要版を、各幼稚園及び学校を通してお届けいたしますので、ぜひご覧下さい。

なお、基本計画及び市川市教育振興会議の内容は、教育委員会Webページでご覧いただけます。(欄外参照)

[教育政策課]



市川市教育振興会議 本年度は5回実施



### ◆ 計画の期間 ◆

## 平成21年度市川市児童・生徒学習賞 表彰式

2月22日(月)、児童・生徒学習賞の表彰式が市川市議会議場で行われました。この賞は、学校等の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀またはそれに準ずる成績を収めた個人・団体に与えられるものです。本年度は、個人20件及び16団体が受賞しました。受賞者には、大久保市長から賞状と記念品が授与されました。皆様、おめでとうございます。 [指導課]



### 【個人表彰】 敬称略

No	受賞者氏名	大会名・コンクール名	受賞内容
1	市川市立南行徳小学校 6年 永井 佑依 (現南行徳中1年)	第22回千葉県吹奏楽個人コンクール県大会 ※平成21年3月のコンクールのため、平成21年度の表彰対象となりました。	木管楽器部門 金賞 理事長賞
2	市川市立鶴指小学校 6年 太田 敦也	第38回千葉県柔道道場連盟柔道大会	小学6年の部 優勝
3	市川市立宮久保小学校 5年 金子 和歌	第59回全国小・中学校作文コンクール 千葉県審査	小学校高学年の部 最優秀賞
4	市川市立大野小学校 4年 吉田 ケイワン	平成21年度全国少年少女レスリング選手権大会	小学生の部 4年生45kg級 第1位
5	国府台女子学院小学部 2年 栗林 愛子	第12回木の家・こんな家に住みたい作文コンクール	低学年の部 文部科学大臣賞
6	国府台女子学院小学部 4年 高橋 奈々	第12回木の家・こんな家に住みたい作文コンクール	高学年の部 農林水産大臣賞
7	国府台女子学院小学部 6年 山本 美穂	第12回木の家・こんな家に住みたい作文コンクール	高学年の部 国土交通大臣賞
8	国府台女子学院小学部 4年 渡部 優依花	第33回「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール	自由図書部門 4年 最優秀賞
9	日出学園小学校 1年 濱田 侑真 (現2年)	平成20年度明るい選挙啓発ポスター作品募集(千葉県審査) ※平成21年2月の受賞のため、平成21年度の表彰対象となりました。	ポスター・小学校1年生の部 最優秀賞
10	市川市立第六中学校 3年 水野 純樹	第63回千葉県中学校総合体育大会	男子シングルス 卓球 優勝
11	市川市立第六中学校 2年 松山 昂樹 (2年 桑水 隆多)	平成21年度千葉県卓球選手権大会 JOCジュニアオリンピックカップ千葉県予選	カデット男子ダブルス 優勝
12	市川市立第六中学校 2年 桑水 隆多	平成21年度千葉県卓球選手権大会 JOCジュニアオリンピックカップ千葉県予選	カデット男子14シングルス 優勝
13	市川市立第七中学校 3年 青木 大	第63回千葉県中学校総合体育大会	60kg級 柔道 優勝
14	市川市立第七中学校 1年 石川 勇太	平成21年度千葉県中学校新人体育大会	55kg級 柔道 優勝
15	市川市立福栄中学校 3年 安藤 千夏	第63回千葉県中学校総合体育大会	女子800m自由形 水泳 第1位
16	市川市立福栄中学校 2年 篠原 春奈	千葉県中学校水泳競技大会	女子200m平泳ぎ 1位
17	市川市立南行徳中学校 2年 海宝 悟子	平成21年度千葉県中学校新人体育大会	女子50mバタフライ 水泳 第1位
18	昭和学院中学校 3年 鶴飼 麻未 3年 木谷 優美	第63回千葉県中学校総合体育大会 ソフトテニス	女子 個人の部 第1位
19	和洋国府台女子中学校 2年 富岡 玲美	第66回全国舞踊コンクール	バレエ第二部 第1位

※個人表彰1件、保護者の意向により掲載いたしません。

### 【団体表彰】 敬称略

No	受賞団体名	大会名・コンクール名	受賞内容
1	市川市立真間小学校 吹奏楽部	第15回日本管楽合奏コンテスト全国大会	最優秀賞
2	市川市立富美浜小学校 マーチングバンド部	第8回千葉県小学校バンドフェスティバル	金賞
3	国府台女子学院小学部	第12回「木の家・こんな家に住みたい」作文コンクール	最優秀団体賞
4	中山IMBC	千葉県スポーツ少年団第29回ミニバスケットボール交流大会 兼第28回関東大会千葉県予選会	女子 優勝
5	曾谷SC	2009年度第7回JFAS人制関東大会千葉県予選大会	優勝
6	少年野球市川地域選抜チーム	第8回千葉県少年野球連盟地域対抗 6年生選抜大会	優勝
7	市川市立第四中学校 女子バスケットボール部	第37回 千葉県中学校バスケットボール選手権大会	優勝
8	市川市立第六中学校 卓球部	第63回千葉県中学校総合体育大会	男子団体の部 優勝
9	市川市立第七中学校 サッカー部	第63回千葉県中学校総合体育大会	優勝
10	市川市立南行徳中学校 合唱部	第76回NHK全国学校音楽コンクール千葉県コンクール	中学校の部 最優秀校
11	昭和学院中学校 バスケットボール部	第63回千葉県中学校総合体育大会 バスケットボール女子	第1位
12	昭和学院中学校 新体操部	第40回関東中学校新体操大会	団体(リボン5) 第2位
13	昭和学院中学校 ソフトテニス部	第40回全国中学校ソフトテニス大会	女子団体 準優勝
14	昭和学院中学校 水泳部リレーチーム 木内・田村・真如・小川	千葉県中学校水泳競技大会	女子400mメドレーリレー 第1位
15	昭和学院中学校 体操競技部	第63回千葉県中学校総合体育大会	女子団体 優勝
16	市川市立第六中学校 管弦楽部	平成21年度「こども音楽コンクール」文部科学大臣奨励賞選考会 (全国大会)	中学校重要部門 文部科学大臣奨励賞

市川市教育振興基本計画・市川市教育振興会議は、WEBページでもご覧いただけます  
http://www.city.ichikawa.lg.jp/ → 教育委員会 → 教育委員会の方針・計画より

■発行	市川市教育委員会	■企画編集	市川市教育センター
	〒272-8501 市川市八幡1-1-1		〒272-0015 市川市鬼高1-1-4
	TEL 334-1111		TEL 320-3335

# 教育実践記録論文「いぶき」



2月19日(金)、グリーンスタジオにおいて「平成21年度教育実践記録論文」の表彰式・発表会が行われました。応募総数は18編。10月からの厳正な審査を経て、右のように各賞が決定しました。表彰式では、大熊徹審査委員長(東京学芸大学教授)から審査結果が発表され、田中庸恵教育長より賞状が授与されました。

続いて、発表会では最優秀賞に輝いた2編の発表が行われました。

審査員からは、「石橋教諭の実践には、一単元(8時間)の国語授業の中に、日々の学習に生かせる工夫が満載」「上野教諭は、国語科の調べ学習のあり方についてきめ細かな視点をもって実践している」との講評がありました。

表彰された論文は、実践記録論文集「いぶき」にまとめられ、受賞者と各学校に届けられます。次年度もたくさんの方々の応募をお待ちしています。 [教育センター]

## 《一般部門》 敬称略

氏名	学校名	分野	テーマ	賞
石橋 智子	稲荷木小	国語(読書)	詩の世界で言葉の豊かさと感性を磨こう 「〇〇になりきって詩を書こう」	最優秀賞
外畑 幸一	福栄中	学校経営	活力と魅力あふれる学校の創造に向けた福栄中の実践	特別賞
多田 博子	妙典小	音楽	音楽専科が関わる低学年の音楽活動の実践	優秀賞
立石 洋子 大河原 悦子	南行徳小	健康福祉教育	生涯元気な体で生きるみなみっ子のひとくち食べようネットワーク ～ヘルシースクール食育の3年間の取り組み～	優秀賞
青木 利雄	大野小	特別活動	学級会で子ども同士の心をつなぐ ～学級活動を中心とした心温かな学級づくり～	優良賞
岸 さやか	鶴指小	特別支援教育	チームを組んで、みんなで支援 ～有機的な校内支援体制の構築を目指して～	優良賞

## 《フレッシュ部門(経験5年以下)》 敬称略

氏名	学校名	分野	テーマ	賞
上野 彩	行徳小	国語(読書)	もっと知りたい!調べてよかった! ～「さげが大きくなるまで」の感動をつなげて～	最優秀賞
大沢 紋子	新浜小	特別支援教育	児童の実態に応じた指導の工夫 ～特別支援学級での取り組み～	優秀賞
勝治 雄紀	稲越小	理科	自然を愛護する態度を育てる理科学習 ～「モンシロチョウひとり1匹飼育活動をとおして」～	優秀賞
根岸 茂美	真間小	国語	演劇的要素を取り入れた「読むこと」の指導	優秀賞
伊藤 真澄	稲越小	特別活動	人間関係形成力の向上とリーダーとしての意識の高まりについて ～ぼかぼかグループ(縦割り活動)を手がかりに～	優良賞
金井 健	真間小	社会	自分化を図るための学習活動 -伊能忠敬とともに歩む-	優良賞
齊藤 千尋	菅野小	道徳	未来を生きる子どもの心を育む道徳の実践 ～心と体とを結びつけるために～	優良賞
平賀 明美	中山小	道徳	総合単元的な道徳学習「I LOVE 中山 ～町の人となかよくなるう～」 ～地域の人々との交流を通して育てる豊かな心～	優良賞

# 教育に夢を!

## ◇◇ 教育委員と学校の交流会 ◇◇

### 落語のライブ参観・実演

宮田小 2/1

- ☆「三遊亭圓窓師匠の落語のライブ」参観
- ☆児童の代表が落語に挑戦!(4年生)
- ☆会の後、保護者と教育委員との意見交流



圓窓師匠と子どもたちのやりとりで会場が一体となった楽しい雰囲気がつくられました。プロの噺家の落語をライブで聞き、「話をする、話を聞く、情景を頭に描く」ことが、全てのコミュニケーションの原点であると感じました。(感想:宇田川委員長)

見えないものをみる  
圓窓師匠の熱の入った落語指導

### ゲームを通しての交流

大野小 2/3

- ☆6年生4クラス
- ☆人とかかわりを学ぶエクササイズ(ゲーム)



心と身体のふれあいゲームを通して、子どもたちと出会い、その子のほんの一部分を知りながら、なごみ、気がつくフレンドリーな関係になっていました。今の自分、友だち、学校、家族を大切に思っていることもわかり、とても心地よい時間を過ごせました。(感想:五十嵐委員)

じゃんけんポン!  
ゲームで互いの興味・関心をチェック

大和田小 2/9

### 家庭教育学級との交流

- ☆家庭教育学級参観(養護教諭・栄養士の話)
- ☆家庭教育学級生(保護者)との懇談



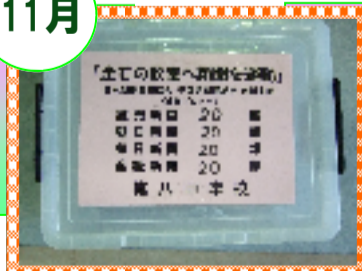
朝食って大事ですね!  
家庭教育学級の内容を受けて話が進みました

保護者の方々の食生活に対する関心・意識が高く、特に朝食の大切さをよく理解されていることに感心しました。子どもたちが、毎日おいしく給食を食べている様子が伝わってきて、とても安心しました。(感想:中村委員)

[教育政策課]

11月

四大全国紙が各教室に!



日本新聞販売協会・千葉県新聞組合市川支部からのご提供です

12月

宇宙の種大実験ミッション2009



若田さんが宇宙に持っていった種を育てています(柏井小)

1月

休日に足を伸ばして...



この掲示物は、どこにあるのでしょうか?(答え:3面に記載)

2月

カードゲームで数を予測!



大学で研修中の4人の先生方による特別授業(福栄中)

## フォトアルバム 市川の教育

市川の教育の一場面を写した写真を掲載します! 読者の皆さんからの情報提供をお待ちしています。情報提供については市川市教育センターのWEBページをご覧ください。



# 子どもたちが喜ぶ壁画を！

## ～ 聖徳大学と市川市動植物園の連携 ～

9月22日、市川市動植物園に新しい壁画が登場しました。描きあげたのは、聖徳大学美術部の学生たち。聖徳大学児童学科と短期大学部保育科は、平成18年度から動植物園で自然体験学習を実施しています。これは、教員を志望する学生たちが、自然体験学習を通して豊かな人間性を身につけることをねらいとしています。この取り組みが、新しい壁画づくりにつながり、「記念撮影をしたくなる壁画を」という動植物園の願いが形になりました。出来上がった壁画は、大変評判が良いそうです。壁画づくりの中心となった3人の学生にお話を伺いました。

### 夢のある絵を描きたい ～ 部員9人の思いをこめて

「市川市動植物園の壁画に挑戦してみない？」きっかけは、保育科の本田陽子教授の一言でした。「は、はい・・・」9名の部員の中には、壁画を手がけた経験がある人はいませんでした。自然と「やってみよう」という雰囲気になったそうです。

「子どもたちに喜ばれるように」を合言葉に、各自がデザインを持ち寄り、子どもたちと動物たち(レッサーパンダ・ミーキャット・マンドリンなど)と一緒にミニ鉄道に乗っている原画(10分の1サイズ)を美術部顧問の大成哲雄先生とともに作りました。



土田さん・中根さん  
藤谷さん(左から)

9月14日、現地を訪れて壁画の下書きを始めました。道具や設備は動植物園の方々準備していただき、下絵→背景→人物・動物と仕上げていきました。朝の9時から夕方5時まで。製作途中に来場者から声をかけてもらうことで励みとなり、粘り強く続けることができたそうです。大学の研修と重なり人数が集まらない時もありましたが、なんとか夏休みの最終日に完成させることができました。



完成までを記録したアルバム。記録を後輩に残すことが重要という

### 横幅24m 巨大な壁画への挑戦

その後、実際に動植物園を訪れ、担当者との相談を重ねました。実際に園内を見学したのは初めてでした。動物たちと直接触れ合ったことでいきいきとした構図に仕上がりました。

### 壁画がつなぐもの

「今振り返ってどんな気持ちですか」と尋ねると、「大変だったけど、描き上げた満足感があります。みんなで一緒に頑張るって楽しいですね。今後、何でも挑戦していこうという気持ちになった気がします」と3人とも笑顔で答えてくれました。この活動を通して、美術部員同士の仲が良くなったそうです。壁画の右下にひっそりと加えられた「聖徳大学美術部」の文字。これを書き加えた瞬間に、美術部員みんなの心の中にも、このうえない喜びと信頼に満ちた巨大な壁画が描かれたことでしょう。



今年度(1月末まで)、動植物園を利用している市内小中学校は31校で、利用者数は、合計4138人(引率273人を含む)に上ります。

小学校は、3・4年生での見学や、市内めぐりの一環として訪れているところが多いようです。中学校では、第二・第三・大洲・第八・塩浜中の5校が1・2年生で実施する職場体験や職場訪問で訪れています。今後も、動植物園と学校の連携を深めていきたいと思ひます。

本年度、市川市教育委員会は、聖徳大学と協定書を取り交わし、相互に連携・協力して市川市教育の充実・発展を目指しています。本年度の具体的な取り組みとしては、以下のようなものがあります。

#### ○不登校対策支援

- ・きらきら体験事業への協力(児童・生徒への支援)
- ・保護者への支援(保護者への講演)
- ・訪問員派遣(不登校児童生徒への大学院生の派遣 66回)

#### ○講師派遣

- ・出前研修における各学校への講師派遣 [指導課・教育センター]

※ H20年度実績

◆関連クイズ◆ 壁画に描かれている「動物」のうち、体長約1mで赤いくちばしをしている鳥は何でしょうか？(答え:4面に記載)

## みんなで学んだことを生かしていこう！

### ～ わんぱくセミナー & ジュニアリーダー講習会閉講式 ～



11月15日(日) 140名受講  
写真はわんぱくセミナー八幡小会場



11月29日(日) 53名受講  
ジュニアリーダー講習会 全員集合

### ○●● ジュニアリーダー講習会受講生より(抜粋) ○●●

私が、この1年間を通して思ったことは、誰だってリーダーになれる、誰だってボランティアはできるということだ。その2つに共通しているのは、「相手を思いやり、考え、何事にも挑戦することができる」ということだと私は思う。この1年間で覚えてきたことを日常でも生かしつつ、来年もまたこのジュニアリーダー講習会に参加したい。



ジュニアリーダー講習会の受講生が参加している市川市ジュニアリーダーサークルが、青少年健全育成に貢献し、顕著な功績のあった団体として、内閣府特命担当大臣から平成21年度「社会貢献青少年及び青少年健全育成成功者表彰」を受けました。 [青少年育成課]

## 平成21年度 学校版環境ISO認定式

2月12日(金)、グリーンスタジオにおいて、今年度で7回目を迎える認定式が行われ、新たに富貴島・行徳・南行徳・新浜・富美浜の5つの小学校に認定証が授与されました。

認定式後半では、2年目を迎えた真間小・若宮小・鶴指小・宮久保小・南行徳中の児童生徒代表により、これまでの各学校での取り組みの発表が行われました。子どもたちを中心に始まった「環境にやさしい活動」が、学校から家庭へと広がり、それが地域の方々の意識の高揚にまで結びついている報告等がありました。今後も身近な環境に目を向け、積極的な環境保全・節約活動が大切であることを確認し、認定式の幕が閉じられました。 [指導課]



節水を心がけた手洗い(行徳小)

## 電子黒板で「楽しい」授業



教職員の研修会

文部科学省の委託事業「電子黒板を活用した教育に関する調査研究」の指定校として、真間小学校が選ばれ、20台(各教室1台)の電子黒板機能付きデジタルテレビ(50インチ)が導入されました。パソコンに接続することで、画面上に指や専用ペンで文字や絵を描けるのはもちろん、画面の拡大縮小、インターネット接続、そしてテレビやDVDを大画面で見ることがもできます。さらには、付属カメラで子どもたちの作品やノートを複数映したり、子どもたちのマット運動などの録画映像を、画面上で静止させて、文字や矢印等で注意点を示したりすることもできます。

今後真間小学校では、電子黒板を使った「楽しくてわかりやすい」授業の研究が進められます。 [指導課]



行事・イベント・情報もりたくさん! 地域の活動情報は「Comisapo情報ネット」で!! 市川市Webページ → 教育委員会 → Comisapo情報ネット

◆ フォトアルバム市川の教育「1月」(2面の答え) → 市川歴史博物館(1階)

### シリーズ(4) 美しい日本語 ～人をつなぐ 未来へつなぐ～

昭和54年、「歌いっぱい・花いっぱい・読書いっぱい」の市川を目指して、保護者・先生・教育委員会が一体となって立ち上げた「市川子どもの本の会」は、昨年30周年を迎えました。その貴重な足跡を振り返りつつ、「新年百人一首かるた会」の様子をお知らせします。

#### 30年間の主な活動を紹介

子どもの本について学び、よりよい本を紹介するために、「家庭と学校を結ぶ楽しい読書講座」を年間4～6回、これまで139回実施してきました。講師には、松谷みよ子さん(昭和59年)・小島貞二さん(昭和61年)・角野栄子さん(平成2年他)など子どもの本に関わる方々をお招きしています。また、「シンポジウム」「三世代読書会」「手づくりおはなし会」なども実施しています。

昭和55年から、市民まつりに参加し、人形劇・紙芝居・読み聞かせ等を行い、本の持つ力をアピールし続けてきています。

#### 実況中継「百人一首かるた会」

「百人一首かるた会」は、昭和57年に始まり、毎年1月末の日曜日に開催しています。市内の小中学校からの参加者が学年別のグループに分かれて腕を競い合っています。今年も、19グループ(122名:1グループ6名程度)で対戦しました。決戦の前に緊張ぎみの子どもたちに家で百人一首をしたことがあるかどうかを尋ねたところ、ほぼ全員が挙手しました。「へえ～」と感心していると、「家でやってる人がここに集まるんだよ!」ととってもな発言が聞こえてきました。

対戦が始まると、読み手の流れるような和歌とともに「ハイッ!」と札をとる声が響きました。徐々にそのテンポが上がり、歓声やため息もまじるようになり、会場は熱気に包まれました。



真剣なまなざし

#### 伝統が「誇り」を支える

各グループで札の枚数の多い順に1～3位が表彰され、全員が記念品として手作りのしおりをいただきました。やりとげた顔とともに、予想よりも取れなかった悔しい顔もありました。

会の後、大野多美子会長に今年のかかるた会について尋ねました。「子どもたちも良く覚えてきています。千年以上前に作られた日本の代表的な和歌が、今も脈々と受け継がれています。短い三十一文字に込められた美しい韻律(いんりつ)の歌を、子どもの時代に覚え、大きくなって意味を知り、日本の“ことば”の美しさを感じてくれたらと願っています」

当日のスタッフは、子どもの本の会の会員と百人一首に興味のある協力者、読み手は「百人一首同好会」の方々に計25名。日本の素晴らしい文化を伝え続ける姿に「誇り」を感じました。



白い手袋で合図を送る(左)



市内小中学校における「百人一首かるた大会」の実施状況を調査した結果、市内の約3分の1の小中学校において取り組んでいることがわかりました。真間・中山・八幡・大柏・若宮・国府台・鬼高・信篤・二俣・新浜・柏井・大洲・新井・稲越小などで、学年ごとの大会を実施したり、クラスの代表が競い合ったり、全校から希望者を募って大会を開いたりしています。大会の運営を図書委員会を中心に行っている学校や、「百人一首かるた会」への選抜大会を実施している学校もあります。また、百人一首クラブが活動をしている学校もあります。中学校では、第四・第八・東国分・大洲中などが、主に1・2年の「国語科」の授業の一環として「百人一首かるた大会」を行っています。[指導課・教育センター]

### 見守り活動展開中

1月21日(木)、市川市勤労福祉センターにて、第5回市川市少年補導員連絡協議会が開かれました。40年以上の歴史があるこの協議会には、市内13ブロックで160名の補導員が参加しています。本年度は、12月末までのべ324回(1720人)の街頭補導を実施しました。

見守り活動について会長の三部さんは、「子どもたちには身近なところで関わることができて、無事故でいられることが何よりです」と話してくださいました。[少年センター(地域教育課)]



三部会長の挨拶

### 共に喜び、共に歩もう、明日をめざして

#### 子どもたちの自立や社会参加を支援する特別支援教育

1月27日(水)、第19回市川市特別支援教育振興大会が市民会館で行われました。参加者は、約500名。市川市の特別支援教育の現状についての報告、県立市川特別支援学校の生徒の生活や学習の紹介、島田律子氏(タレント・エッセイスト)の記念講演等がありました。



記念講演

「私はもう逃げない～自閉症の弟から教えられたこと～」と題した記念講演は、弟にまつわる思い出、姉としての様々な思い等が語られ、会場は涙と笑いに包まれました。島田さんの夢は、障害のある人もない人も当たり前のように自由に暮らせる街づくりだそうです。市川市がそのような街に少しでも近づけるように、できることから始めようと感じた大会でした。[指導課]

#### 須和田フェスティバル2010

2月6日(土)、須和田の丘支援学校で「祭りだワッショイ!みんなでおみこし」が行われました。小学部～高等部が協力しあい、みこしを製作し、完成したみこしを担いで校内を練り歩きました。大勢の保護者の協力のもと、高等部の作業作品の頒布や模擬店なども開かれ、笑顔いっぱいの会になりました。[指導課・教育センター]



担ぎ手は元気いっぱい

#### 特別支援学級の新規設置校のお知らせ(予定)

特別支援教育推進に係る環境整備の観点から、全市的な特別支援学級の設置バランス・未設置地域の状況等を考慮した結果、平成22年4月より信篤小学校に特別支援学級(知的障害学級)の開設を予定しています。(所在地:市川市原木2-16-1) [義務教育課]

### 博物館からのお知らせ

#### 考古博物館・歴史博物館

##### ◆ 第10回『縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚』 ◆

日時=3月28日(日) 10:00～15:00

会場=考古・歴史博物館、堀之内貝塚公園、歴史博物館広場 他

内容=国指定史跡の堀之内貝塚と考古・歴史博物館があるという地域的な特性を生かし、子どもから大人まで気軽に参加して楽しめる地域まつりを開催します。縄文人の生活を体験できるコーナーやフリーマーケット、第10回記念として和太鼓の演奏や紙芝居、粘土の型抜きもあります。

その他=入場料は無料。雨天時は縮小開催。自家用車でのご来場はご遠慮ください。

問合せ=市川考古博物館

373-2202

(堀之内2-26-2)



博物館前広場「縄文を食べよう」

#### 自然博物館(339-0477)

◆散策会 平成22年3月21日(日) 10:00～11:30

「国府台界限」里見公園～じゅん菜池緑地

※ 集合場所等博物館までお問い合わせ下さい。

◆企画展 平成22年2月20日(土)～平成23年1月30日(日)

自然博物館 特別展示室 「長田谷津(大町自然観察園)いきもの暦」

※ 観察園の四季を実物、標本、写真等で紹介します。

◆ 関連クイズ(3面の答え) → シュバシコウ(朱嘴鶴:写真の中央部分 レッサーパンダの間) ※ コウノトリ科

教育いちかわは、WEBページでもご覧になれます <http://www.city.ichikawa.lg.jp/> → 教育委員会 → 教育委員会の組織 → 教育センター